

西東京市縁の方

料理研究家 エッセイスト



小林 カツ代さん

来歴

(1937年 - 2014年) 大阪生まれ

専業主婦になり料理を失敗したことを切っ掛けとして、料理の道に目覚めた。実践的で多彩なレシピは、幅広い年代から支持され、テレビやラジオなど多くのメディアで紹介される。エッセイストとしても活躍し、多彩な活動を続けていたが、2014年逝去。享年78歳。

没後も復刊、新刊の発行が続き、未だ人気不衰えることがない。



どうして西東京市と縁なの？

西東京市（旧田無市）にお住まいで、田無公民館にて料理教室の指導をされていました。当時の市報にも、同じく「縁」の小児科医、真弓定夫氏と対談記事や、田無市長との新春対談などが掲載されるなど市内でも幅広い活動をされていました。田無市時代の『図書館だより』（1986.10.15 No.23）では、「たなし人発見」欄ではインタビューも掲載されています。



担当オススメ本

『おなかがすく話』（河出書房新社 2015年 ISBN：4309413501）

若き日に綴られた軽快な語り口で読み進められる抱腹絶倒のエッセイに加え、後日談とレシピの掲載もあり。買い物や外食など身近な食へのエッセイは、食への好奇心がそそられます。

『小林カツ代のお料理入門』（文藝春秋 2015年 ISBN：4166610143）

料理の初心者でも「核心・へそ」が理解できる入門書。オムライスやハンバーグなどの家庭料理の基礎から、買ってきたものをすぐ「おかず」にする工夫まで様々なレシピが紹介されています。

